

# 令和3年度 クリーニング師試験 筆記試験問題

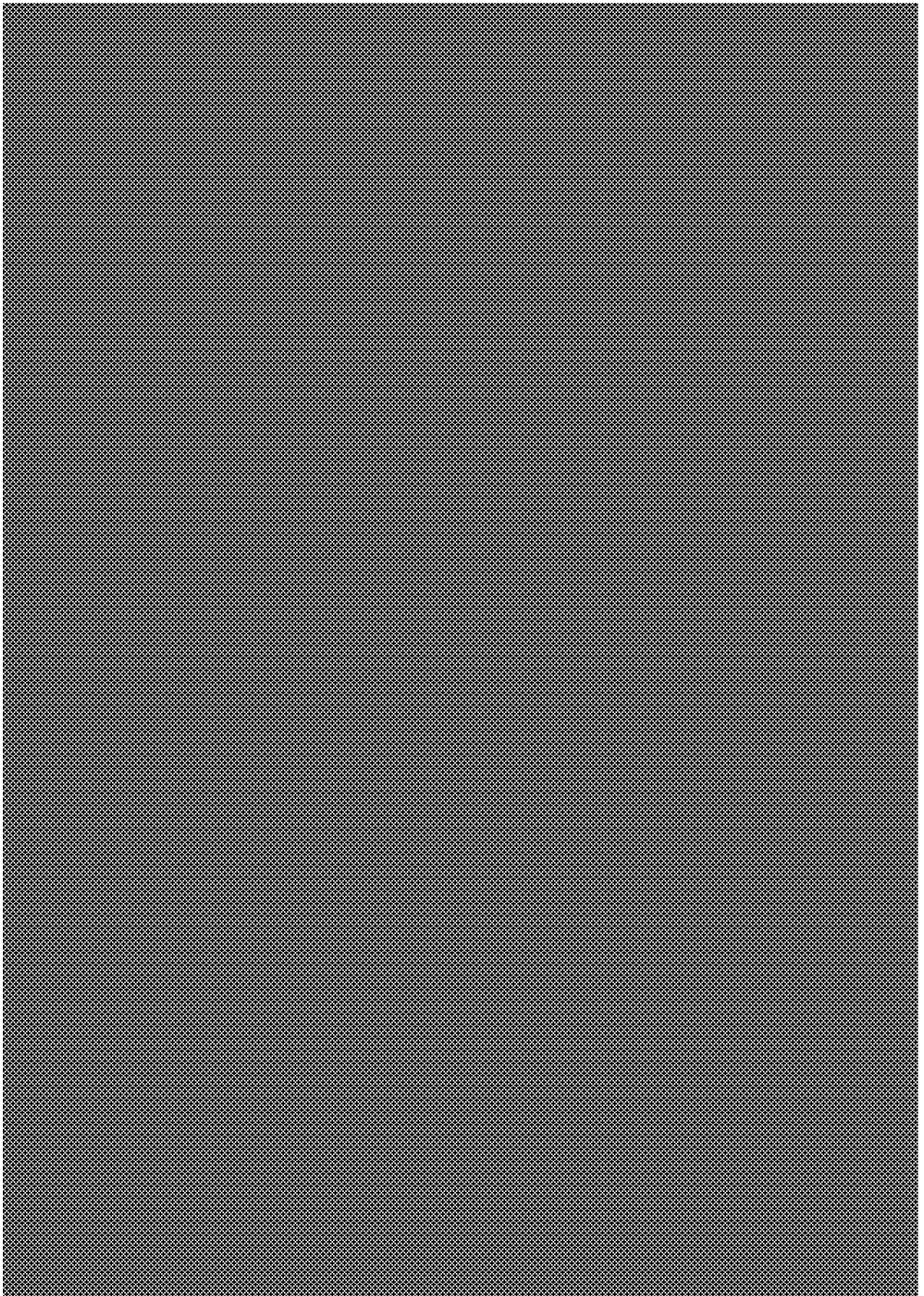
試験日	令和3年10月22日(金)
試験時間	午前10時00分～10時45分

## 【受験上の注意事項】

- 1 問題用紙と解答用紙は別々です。解答は必ず解答用紙に記入してください。
- 2 解答用紙に、受験番号と氏名を記入してください。受験番号が記入されていない場合は、解答が無効となります。
- 3 問題は、衛生法規に関する知識：5問、公衆衛生に関する知識：5問、洗濯物の処理に関する知識：5問で全15問です。
- 4 試験時間中に発言をしてはいけません。用事があるときには黙って手をあげてください。なお、問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- 5 試験時間は45分間です。試験開始後20分が経過したら退室できますが、退室した後は、再入室することはできません。
- 6 試験問題は持ち帰ることができます。

指示があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。

山 梨 県



## 衛生法規に関する知識

### 【問題1】

次のクリーニング業法に規定する定義に関する記述について、( )の中に入る語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

この法律で「クリーニング業」とは、(ア)を使用して、衣類その他の繊維製品又は(イ)を原型のまま洗濯すること(繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗濯し、さらにこれを貸与することを(ウ)行なうことを含む。)を営業とすることをいう。

- | (ア)        | (イ)  | (ウ)      |
|------------|------|----------|
| 1 溶剤又は洗剤   | 寝具製品 | 営利を目的として |
| 2 洗濯機及び脱水機 | 皮革製品 | 繰り返して    |
| 3 溶剤又は洗剤   | 皮革製品 | 繰り返して    |

### 【問題2】

クリーニング業法施行規則の規定により、クリーニング所において、苦情の申出先として、店頭に掲示しなければならない内容として、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 施設の名称及び電話番号、営業者の氏名
- 2 施設の名称、所在地及び電話番号
- 3 施設の名称及び所在地、営業者の氏名

### 【問題3】

クリーニング業法施行規則に規定するクリーニング師の免許についての記述として、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 クリーニング師の免許を受けようとする者は、クリーニング師試験に合格してから1月以内に、合格地の都道府県知事あてに申請しなければならない。
- 2 クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、その旨を書き、破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、1月以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- 3 クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、1月以内に、免許証の訂正の申請を住所地の都道府県知事にしなければならない。

### 【問題4】

クリーニング業法に規定する営業者の衛生措置についての記述として、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答欄用紙に記入しなさい。

- 1 営業者は、クリーニング所以外において、営業として洗濯物の処理を行い、又は行わせてはならない。
- 2 洗場については、床が不浸透性材料で築造され、これに適当な勾配と排水口が設けられていなければならない。
- 3 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物を取り扱う場合は、その洗濯物と他の洗濯物と区分しておき、必ず洗濯する前に消毒を行った後に消毒の効果を有する方法によって洗濯しなければならない。

**【問題 5】**

クリーニング業法に規定する営業者の届出についての記述として、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 クリーニング所を開設しようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、クリーニング所の位置、構造設備及び従事者数並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。
- 2 クリーニング所を開設しないで洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業しようとする者は、厚生労働省の定めるところにより、営業方法及び従業者数その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。
- 3 相続により営業者の地位を承継した者は、その事実を証する書面を添えて、1月以内に都道府県知事に届け出なければならない。

## 公衆衛生に関する知識

### 【問題6】

「公衆衛生」の定義に関する以下の記述について、（ ）内に入る語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

公衆衛生の定義について、広く知られているのは Winslow（ウインスロー）による定義である。そこでは、「公衆衛生とは、環境衛生の改善、伝染病の（ア）、個人衛生の原則についての個人の教育、疾病の（イ）と治療のための（ウ）と看護サービスの組織化、および地域社会のすべての人に、（エ）のための適切な生活水準を保証する社会制度の発展のために、共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、肉体的、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、技術である。」と述べられている。

	（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）
1	予防	早期診断	医療	健康保持
2	治療	早期診断	医療	生活維持
3	治療	検査	医薬品	健康保持

【問題 7】

次の世界保健機関（WHO）憲章の「健康」の定義に関する記述について、（ ）内に入る語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

健康とは、（ア）、精神的及び（イ）に完全によい状態にあることであり、単に（ウ）又は虚弱でないということではない。

- |   | （ア） | （イ） | （ウ） |
|---|-----|-----|-----|
| 1 | 肉体的 | 物理的 | 貧困  |
| 2 | 文化的 | 社会的 | 疾病  |
| 3 | 肉体的 | 社会的 | 疾病  |

【問題 8】

クリーニング所における感染症対策についての記述として、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 従業員の健康管理      ー      従業員の健康状態は、個人的なことなので、クリーニング所は関与せず、感染症が流行している時期に罹患の疑いのある場合においても、受診勧奨などは行わない。
  
- 2 手洗いの励行            ー      感染症対策で手洗いは重要であることから、事業所内に手洗い設備の確保や消毒液の常備等を行い、従業員に対して「手洗い」の徹底を図ることが重要である。
  
- 3 洗濯物の取扱い        ー      全ての洗濯物には微生物汚染があり、有機物も存在するため、時間経過とともに増殖する可能性がある。したがって、その取扱いには留意しなければならない。



【問題9】

次のクリーニング所における指定洗濯物の一般的な消毒方法と消毒条件に関する組み合わせとして、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- | (消毒方法)     |   | (消毒条件)   |
|------------|---|--|
| 1 蒸気による消毒  | — | 蒸気がま等を使用し100℃以上の湿熱に10分間以上触れさせる。                      |
| 2 熱湯による消毒  | — | 75℃以上の熱湯に1分間以上浸す。                                    |
| 3 塩素剤による消毒 | — | さらし粉や次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、遊離塩素20ppm以上の水溶液中に30℃以上で5分間以上浸す。 |

【問題10】

ノロウイルスに係る吐ぶつやふん便が付着した洗濯物の処理に関する記述について、( ) 内に入る語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

ノロウイルスに係る吐ぶつやふん便が付着したリネン類は、ペーパータオルなどで吐ぶつやふん便を取り除き、洗剤を入れた水の中で(ア) 洗いする。下洗いしたリネン類の消毒は(イ) °C・1分間以上又は80°C・(ウ) 分間以上の熱水洗濯が適している。ただし、熱水洗濯が行えない場合には、次亜塩素酸ナトリウムの消毒が有効である。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1 静かにもみ		85	10
2 激しくもみ		85	5
3 静かにもみ	100	100	10

## 洗濯物の処理に関する知識

### 【問題 1 1】

次のクリーニングに関する記述として、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 特殊クリーニングには、パウダークリーニング（毛皮専用のクリーニング）、皮革クリーニング、和服クリーニング、カーペットクリーニングなどがある。
- 2 ドライクリーニングでは、揮発油のような石油系溶剤、塩素系溶剤（テトラクロロエチレン、通称「パーク」）、ふっ素系溶剤（HFC-365mfc）などを用いる。
- 3 水洗いには、品物の品質を低下させないように穏やかな方法で洗うランドリーと、石けんや洗剤とアルカリ剤を用いて洗濯機で温水洗いするウェットクリーニングとがある。

### 【問題 1 2】

次の石油系ドライ機の使用時の注意に関する記述として、誤っているものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 引火点が 40℃以上の石油系溶剤を使用する。
- 2 溶剤の温度は、35℃を超えないようにして洗浄する（30℃以下が望ましい）。
- 3 引火点の低い溶剤（ベンジン、シンナーなど）を前処理に積極的に用いる。

【問題 1 3】

次の油性汚れに関する記述として、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 油性汚れのシミを拡大鏡などで拡大すると、粒子状物質が観察される。
- 2 油性汚れのシミには、油脂、皮脂、機械油、グリースなどがある。
- 3 油性汚れのシミには、水と中性洗剤を基本としたシミ抜き剤を用いる。

【問題 1 4】

クリーニングの仕上げの 3 条件に関する記述として、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 湿気      —      水分を与え繊維の弾力を回復させる。
- 2 熱         —      水分を追い出し、繊維の弾力を消失させる。
- 3 圧力      —      形を整える。

【問題15】

各繊維素材のアイロンによる標準的な仕上げ条件に関する記述として、正しいものはどれか、一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 ポリ塩化ビニルは、アイロンによる仕上げは不可である。
- 2 アセテートやアクリルの標準的な仕上げ温度は、150～160℃である。
- 3 毛の標準的な仕上げ温度は、120℃以下である。